



一般社団法人 KISA2隊

# 活動報告書

## 2024



## 現場の経験知を活かし、 命を守り、心を救う活動を

この度は、一般社団法人KISA2隊の活動報告書をご覧いただき、心より感謝申し上げます。

KISA2隊は、新型コロナウイルス感染症への対応を契機に2021年2月に設立され、2022年3月に法人化しました。

現在、私たちは全国約20都道府県、30を超える地域で約1,000名の隊員が、職種・地域・世代を超えて社会課題解決に挑む集団へと成長しています。

私たちは、有事と平時の両方を見据え、以下の具体的な活動と実績を積み重ねてきました。

一つ目は、新しい医療体制の構築と人材育成です。在宅医療支援として、MC(メディカルコーディネーター)システムの導入支援を北海道紋別市などで実施。また、大阪けいさつ病院と連携し、2024年4月には総合診療科外来を設立しました。

二つ目は、介護人材の育成と有事における対応力の強化です。クラスター対策経験を凝縮した「集団感染仕事人講座」では、シミュレーションゲームやリーダー養成を通じ、柔軟でしなやかなチーム作りを支援しています。

三つ目は、災害対応と地域防災力の底上げです。2024年1月の能登半島地震への支援活動を経て、休眠預金活用事業の資金分配団体として採択されました。これにより、災害時のBCP策定支援や、医療・介護・福祉を繋ぐ人材育成に本格的に取り組んでいます。

私たちはこれからも、医療・福祉・官民の連合体として、現場の経験知を活かし、命を守り、心を救う活動を力強く展開してまいります。



代表理事  
見藤 大

## これからの日本を支える 新しい地域医療体制

2020年12月、京都府で80代の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者が入院先を見つけられず、自宅で亡くなる痛ましい事態が発生しました。

この出来事をきっかけに、有志の医師と共に「KISA2隊」を設立いたしました。

KISA2隊は、自治体や医師会といった既存の組織の枠を越えて協力し、主に在宅患者の方々の心に寄り添いながら、必要な医療と心の安心を届けることを使命としています。

現在では、同じ志を持つ仲間が日本各地に広がり、30を超える地域でそれぞれの実情に合わせ、地域内の組織と連携しながら、その土地に合った医療活動を展開しています。

私たちは、平時の在宅医療と有事の医療体制、両方を充実させることが大切だと考えています。特に緊急時には、KISA2隊の隊員がアメーバのように柔軟に形を変え、迅速に対応できる体制を目指しています。

日本は高齢化が進み、健康に大きな問題がなくても、身体機能の低下により通院が困難になる方々が今後さらに増えることが予想されます。このような状況を踏まえ、今後の国の政策として、在宅医療により重点を置くことが必要不可欠だと考えています。

KISA2隊は、地域における在宅医療のファーストペンギンとして、これからの日本を支える新しい地域医療体制の仕組みづくりに取り組んでまいります。



OYAKATA  
(医師)

守上 佳樹



## KISA2隊とは

地域の人々が安心して暮らし、  
保健・医療・介護の垣根を越えて  
助け合える架け橋に

KISA2隊は、地域社会の医療課題を  
解決するために情熱と志を持って活動する、  
医療介護集団です。



## 活動紹介

### 超法人・超組織連携

行政、医師会、民間企業  
など、外部企業との  
コラボレーション

### 総合診療の文化醸成

志を持ち、次の時代を担う  
プライマリ・ケア医の  
文化をつくる

### 介護人材育成

クリエイティブに介護チーム  
を引っ張るリーダーの  
育成が鍵になる

### 災害支援

医療と介護の架け橋と  
なり、地域の受援力を  
高める活動

## 活動の歩み



- 2021年2月 「KISA2隊京都」が発足(医師会・行政と連携した在宅医療チーム)
- 2021年9月 大阪府医師会、大阪府の支援のもと「KISA2隊大阪」結成
- 2021年10月 MBS「情熱大陸」に出演
- 2022年1月 大阪で延べ1500人以上の往診と400件以上の施設を支援
- 2022年3月 「一般社団法人 KISA2隊」設立
- 2022年9月 MBS「情熱大陸」に2回目の出演(番組初)
- 2022年11月 大阪市・堺市・八尾市・東大阪市・柏原市(約450万人)にて、24時間COVID-19新規患者受け入れ体制を開始
- 2024年1月 「能登半島地震」への支援活動を実施
- 2024年4月 「K2プロジェクト」で大阪けいさつ病院に総合診療科を設立
- 2024年8月 介護人材育成に向けた「集団感染仕事人講座」をリリース
- 2024年9月 「休眠預金等活用法」に基づく資金分配団体に採択

## 受賞歴

- 2023年9月 「風に立つライオン オブ・ザ・イヤー」『鎌田實賞』受賞
- 2023年9月 「第75回保健文化賞」受賞、天皇后陛下に拝謁
- 2024年3月 「第4回SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」【医療の部】受賞

## 組織の垣根を越えた連携がKISA2隊の活動の柱

### ■ 日東電工株式会社との連携事例

◎ 活動地域数：5地域以上（北海道紋別、秋田、埼玉、東京、大阪など） ◎ 活動隊員数：10人以上 ◎ 活動回数：50件以上

#### 活動内容・成果

新規医療機器の開発に向けて、在宅医療の現場理解を深めながら、具体的な課題の特定と解決策の検討を協働で進めました。秋田・埼玉・熊本のKISA2隊への訪問を含む現場同行と振り返りを実施し、前年度の現場同行で収集した約200件のニーズを分析しました。その中から特定した課題について、医療者41名を対象にアンケート調査を行いました。

既存製品に関しては、競合製品へのヒアリングを通じて新たな用途の探索を行うとともに、運用相談などを通じて、製品評価と課題のフィードバックを実施しました。また、海外スタートアップ製品の紹介や、心臓外科領域の有識者をはじめとする専門家の人脈紹介も行いました。社内勉強会では4回の講演会を開催し、異なる医師の取り組みを紹介することで、知見の共有を図りました。



### ■ KISA2隊北海道（紋別）の取り組み：在宅医療支援システムの開発

地域で訪問診療の体制づくりが進まない課題に対し、KISA2隊紋別が立ち上がりました。紋別市に対して24時間365日の対応が求められる訪問診療を支える「MC（メディカルコーディネーター）システム」導入計画を立案し、事業を開始しました。KISA2隊紋別への医師の派遣等の全体調整をKISA2隊本部事務局が行い、KISA2隊京都によるMC研修を実施し、KISA2隊の地域を越えた連携により体制を整備しました。現在は、MCの人数も増え、紋別市の地域在宅医療を担っています。

#### MC（メディカルコーディネーター）とは

医師が本来の診療に専念できる環境を整えるスペシャリスト。患者や家族との連携、運転や事務対応、ファーストコール対応など、医療資格を必要としなくても担える業務を幅広く担当し、在宅医療の現場を支えています。

#### 主な役割と効果

- 常に学びと向上心を持ち、より良い在宅医療の実現に貢献
- 医師の運転を代行し、移動中も業務効率を確保
- 患者・家族の情報共有や申し送りに的確に対応
- ケアマネージャーや医療ソーシャルワーカーでは担いきれない現場の実務支援を実行
- 様々な職種の役割を理解し、多職種の視点を提供



## 大阪けいさつ病院との連携による総合診療専門研修プログラム

### ■ 大阪けいさつ病院とタッグを組み、 「総合診療専門研修プログラム」を大阪都市部で提供

#### 研修実績

◎ セミナー実施回数：17 回 ◎ セミナー参加者数：延べ 476 人

#### 大阪けいさつ病院総合診療科の立ち上げ

新型コロナウイルス感染症の流行時、呼吸器症状だけでなく、心理的側面や生活環境といった患者背景を俯瞰的に診ることのできる総合診療医の不足を痛感しました。この経験から、今後起こりうる有事に備え、「総合診療医を育成したい」という強い想いのもと、本研修プログラムを構築しました。

大阪けいさつ病院は、専門科に分化し、それぞれが最先端の治療と三次救急を行う災害拠点病院です。2024年4月より同院に総合診療科外来を立ち上げ、専門科間の連携が困難な症例に対応することで、総合診療の文化を根付かせる取り組みを行っています。

#### 総合診療プログラムの内容と成果

この総合診療プログラムは、プライマリケア領域を担当するKISA2隊の医師に加え、大阪医科薬科大学・大阪大学・大阪公立大学・関西医科大学の医師が担当し、各大学の講師陣から診療指導を受けられる点が特徴です。

さらに、KISA2隊医師の診療所における外来診療を通じて、家庭医療・地域医療の実践現場を学ぶ機会を提供しています。在宅医療において不可欠である多職種連携を推進し、地域の医療介護従事者との関係構築を支援することで、実践的な医療を経験できる機会を提供しています。

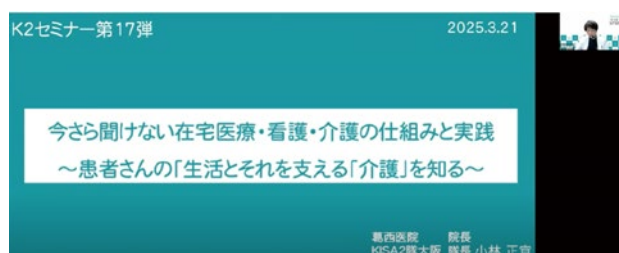
#### K2セミナーの開催

総合診療に関する体系的な知識や技能向上を目指し、専門のセミナー（K2セミナー）を定期開催（2024年度17回実施476人参加）しています。職種を問わず地域のKISA2隊員からも多数参加し、地域の総合診療能力の底上げに貢献しています。

#### プログラム 6つの特徴

- |                             |                         |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1 大阪の都市部で総合診療が学べる           | 4 トップレベルの専門領域で研修を受けられる  |
| 2 全国に研修の場がある                | 5 複数の大学病院の総合診療科の医師から学べる |
| 3 家庭医から継続してプライマリ・ケア研修を受けられる | 6 本格的な多職種連携に入り込む        |

**認可取得** 本研修プログラムは、一般社団法人日本専門医機構より総合診療領域専門研修プログラムの認可を得ています。





## 有事を乗り越えるため、クリエイティブな人材としなやかなチームを育む

### 講座実績

◎ 講座開催回数：22回 ◎ 受講者総数：723人

◎ 実施施設数：338箇所

◎ 開催地域：

北海道、東京都、埼玉県、三重県、兵庫県、大阪府、京都府、  
熊本県、佐賀県、福岡県、鹿児島県の各地域

◎ 参加職種：

医師、看護師、ケアマネジャー、施設長、介護士、理学療法士、生活指導員、本部長、支援員、事務、相談員、保健師、行政職員、大学教授、コミュニティマネージャーなど



### ■ 集団感染仕事人講座の実績・成果

#### 400件を超える感染制御支援・振り返り支援の中で見えてきたこと

介護現場において感染症パンデミックという有事を乗り越えるには「完全無欠な感染対策」ではなく、「コミュニケーションを積極的に取り、物事を建設的に考えながら柔軟に変化できるしなやかなチーム形成が重要である」と考えました。

コロナ5類移行後、クラスター支援の現場を経験した多職種メンバーを中心に、クラスター対応を振り返り「介護現場において本質的に必要なことは何なのか」というエッセンスを全て詰め込んだ「感染クラスター8」と「ユークリ講座」を、2年間の開発期間を経て2024年8月にリリースしました。



お申込みはこちら

### ■ ユークリ講座

(クラスター&有事ケア・クリエイター養成講座)  
— 介護リーダーを育てる —

施設を支える介護職員さんの中に、有事を自分ごととして捉え、自発的に取り組めるリーダーが存在するかどうか感染クラスター等の有事や困難をうまく乗り越えられる施設の分かれ目と考えます。「ユークリ講座」は、そんなアフターコロナ時代の介護現場を支える、新世代の介護リーダーを育成するため、これからのクラスターや有事の対応、施設運営をサポートします。



### 3つの特徴

#### 1 本質的な介護理論「介護3.0」をレクチャー

介護・個人を本質から見直し、介護の在り方自体も変える「介護3.0」の提唱者・KISA2隊横木淳平氏がレクチャーします。

#### 2 クラスターアクションカードを使用し、有事を想定した実践的ワークショップ

400施設を超える支援活動から得た知見を共有、クラスターアクションカードを活用したワークショップを行います。

#### 3 講座後もグループコミュニティでリーダー候補の成長を継続サポート

介護に対する熱い思いを共有する仲間たちとのコミュニティの場で、新たな情報の提供や共有を継続します。

### 参加者の声

自施設でのクラスターの経験や他施設での対応や苦労したこと等色々な情報を共有するいい機会となった。コロナ禍で感染が広がっていき、行動制限されるご利用者に、それに対応する職員、全員が疲弊していた。それを繰り返さない為にもユークリ講座で学んだ事を自施設で実践していきたい。

ユークリ講座では、自身が部下を指導する立場にありますのでとても参考になりました。  
KISA2隊の活動なので、感染症のことだけかなと思っていましたが、目標設定や学習環境デザインは、施設でのご利用者へのアプローチや部下への指導、研修の開催等の参考になりました。

## ■ 感染クラスター8 ーゲームで楽しく学ぶー

地域の行政機関と連携の上、コロナ禍より全国で通算400件以上のクラスター現場での支援活動を実施してきました。「感染クラスター8」は、その支援で得た知見を、経験の少ない地を含め、できる限りたくさんの方に届けるべく開発されたゲームプログラムです。2024年のBCP策定・感染対策研修の義務化を受け、再度注目いただいています！



### ゲームの特徴

感染クラスター8は1チーム4名で取り組むシミュレーションボードゲーム。参加者は仮想施設の職員となり、与えられた4つの役割を各人が担い、それぞれの役割でコミュニケーションを取りながらアクションカードを用いて感染現場を乗り越えていきます。限られた時間の中でチームで様々な判断をし、施設の安心と暮らしを継続することがゲームの目標です。



### 3つの特徴

- 1 クラスター発生時の対応をシミュレーション（模擬訓練）できる
- 2 感染症の基礎知識からクラスターへの実践的な感染対策を学べる
- 3 感染対策研修として施設向けの受講証明書の発行が可能（希望施設のみ）

### 参加者の声

- 感染対応のイロハを一面的ではなく多面的な要素があることに気が付けるキッカケとなりました。
- 感染対策について改めて考え、定期的に啓発し、職員が自信を持ち初動にあたる様に自施設での研修へ繋げて行きます。
- ゲームとレクチャーを通して、コロナの経験を振り返るきっかけとなったり、感染対策の知識をアップデートする機会となりました。
- 感染拡大防止、制御の視点だけでなく、施設職員の元気度、ケア、入居者のADLも考慮した総合的な対応の視点を学ぶことができ、大変参考になりました。
- 感染予防に注視しすぎて、スタッフへの配慮が足りず、スタッフありきのケアや対策になってくる事を改めて実感する事ができた機会になりました。

Supported by  
  
THE NIPPON  
FOUNDATION

issue+design  


協力団体: 日本財団、issue+design

多職種が連携し、被災地に寄り添い、本当に必要な支援を届けるための準備を進める

### ■ 災害ブートキャンプ

#### 開催実績

◎ 開催回数: 6回 ◎ 参加者数: のべ384人

#### 研修内容

2024年10月から全4回のオンライン研修を実施し、「受援力と支援力の両輪」をテーマに、災害医療の基礎からBCP(事業継続計画)・メンタルヘルス・避難所運営まで幅広く学びました。

その後、研修の総仕上げとして、12月21～22日に大阪生野拠点でオフ会を実施し、クロノロジー記録やCSCA構築、防災食の試食、トリアージ演習などを行い、オンラインで学んだ内容を実践的に体験しました。



#### 参加者の声

凄く良かったです。  
更に学んで行きたいです。

#### 今後の取り組み

知識の習得と実地体験を組み合わせたプログラムとして、災害時の即応力とチーム力が着実に向上することを目指し、今後も「学び+実践」のスタイルで防災力の底上げに取り組んでいきます。

#### 参加者の声

- 支援者としての心構えが整った
- 地域や職場のBCP見直しに着手したい

### ■ 休眠預金活用事業

#### 事業概要

2024年、KISA2隊は一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)より、「休眠預金等活用法」に基づく資金分配団体として選定されました。本事業では、地域社会の防災・減災力を高め、災害発生時の受援・支援の両面で機能する体制づくりと、被災地の早期自立を目指します。

事業名:「医療と介護/福祉の架け橋が、命を守り・心を救う」

#### 2つの柱

##### 1 災害受援力を高める地域BCP(連携型BCP)の策定支援

災害発生時に多様な外部支援を的確に受け止め、地域内へうまく展開するためには、平時からの準備が不可欠です。私たちは、専門家の知見を取り入れた地域BCP(連携型BCP)の策定を支援し、災害対応に必要な情報管理ツールの導入、コーディネーション機能の整備、研修・訓練の実施などを推進します。こうした取り組みを通じて、被災地全体が強靱な受援体制を整え、スムーズな復旧・復興につなげていきます。

##### 2 医療・介護・福祉をつなぐ組織と人材の育成

これまでの災害対応で浮き彫りになった課題の一つが、外部支援から被災地の既存リソースへ円滑にバトンを渡せないことでした。この課題解決のため、医師、看護師、介護士、薬剤師など多職種からなるチームを編成し、専門的なコーディネーターを育成します。災害発生直後から、被災地内の医療・介護・福祉資源へ効果的につなげることで、被災地全体の復旧・復興を力強くサポートします。

実行団体がそれぞれの地域で医療・介護・福祉・行政・住民をつなぐネットワークを基盤に、災害時の連携強化やBCP(事業継続計画)の策定・運用訓練を進めています。





## 全国のKISA2隊 活動実績

### 全国のKISA2隊員が、地域の医療・介護福祉を越えた顔の見える関係性づくりに貢献

#### ■ 地域連帯企画「柱合祭り編」

地域交流の橋渡しと顔の見える信頼関係を育むきっかけづくり

地域の活性化と住民の皆さまとの絆を深めることを目指して、地域活動やイベントを支援する「祭企画」を開催しました。2024年8月から始まり、全国各地で10回の「祭企画」を開催。保健・医療・介護の垣根を越えて、地域内で助け合える土台ができ、有事の際にも協力して困難に立ち向かえる素地ができました。



活動実績 ◎ 実施回数:10回 ◎ 地域数:8地域

#### 主な活動内容

参加KISA2隊	名 称	開催日	参加人数	内 容
KISA2隊秋田 (由利本荘市)	石脇通りを 浴衣で歩こう!	8/25	約3,000人	ブース出展(くじ屋、足湯、わなげ、無塩無糖パンの試食)を通して、 少子高齢化最先端の地で「面白きこともなき世におもしろく!」の 精神で町おこしから医療・介護・福祉を盛り上げる
KISA2隊大阪	大人も子どもも みんな本気の運動会	9/28	88人	多世代参加の交流競技で、子どもたちが『大人になることにワクワク ♪』してもらえる効果を期待(しっぽ取りゲーム、風船バレー、 リレー、大縄跳び、○×クイズ、イラスト伝言リレーなど)
KISA2隊能登	門前マルシェ	10/13	約82人	健康・お薬相談、介護相談ブース、きっさ「KISA2」
KISA2隊秋田 (横手市)	第5回赤門祭	10/13	約500人	社会的処方観の観点を取り入れたブースを出展し、健康相談や生活等 のお悩み相談、手作り風船などのプレゼント、目玉大抽選会参加券の配 布により、地域の多世代交流を促進
KISA2隊大阪 (中河内)	縁起でもない話を しようかい(会)	10/19	19人	414(よいし)カードを用いたゲームで、参加者同士で死生観を語り合 い、大切なものに気づききっかけや大切なひととの対話を可能に
KISA2隊能登 KISA2隊大阪	KISA2隊穴水町 こども祭り	11/4	約5500人	遊び場を失った被災地の子どもたちの運動不足解消といきいきと 活動できる場として、SASUKE(障害物競争)、風船割りゲーム、 だるまさんが転んだ、けん玉、射的ゲーム、ダイラタンシー、 医療体験、巨大お絵描き、缶バッジ作成、スタンプラリーを実施
KISA2隊三重	鈴鹿シティマラソン	12/15	約500人	マラソン参加とブース出展(笑顔測定器、血圧測定、相談会、ガチャガ チャ)と通じて、地域の方々の笑顔で街を元気に
KISA2隊秋田 (由利本荘市)	裸まいり	1/19	約800人	地域の伝統行事「裸まいり」に参加し、出店の手伝い、ブース出展を通 して、4町内と災害時に協力できる環境を構築する第一歩に
KISA2隊熊本	猫から始める 共生のまちづくり	2/2	約30人	地域の猫問題を人と人との関係性の問題として捉え、人も動物も 幸せに暮らせる住みやすい地域について考え、多様な視点から 語り合った
KISA2隊 埼玉・東入間	「人生100年時代」 ～まだまだ元気!でも知って おきたい介護のこと～	3/6	約30人	行政とともにケアマネージャーが主体となり、市民講座を主催。 認定調査に関する寸劇を演じることでわかりやすく説明を行い、質疑 応答では、参加者からケアマネージャーへの感謝の声も伝えられた

## 全国のKISA2隊 活動実績

### 柱合会議

全国のKISA2隊員が集結する日本一アツい!?  
地域医療・在宅多職種連携集会

#### 開催概要

- ◎ 参加隊員：全国19地域107名
- ◎ 開催日：4月28日
- ◎ 開催地：熊本県山鹿市『八千代座』

#### 会議の内容

KISA2隊員全体カンファレンス「柱合会議」を約2年ぶりに開催しました。前半の部では、KISA2隊京都・大阪の立ち上げに関わったOYAKATA守上医師より、KISA2隊の取り組みを紹介しました。

能登半島地震支援で陣頭指揮をとったKISA2隊大阪の小林医師より、災害支援活動を通じて得た経験を共有し、「地域主導型災害医療体制」の重要性について情報発信を行いました。

さらに、多機関/多職種/多法人による超法人連携の試みとして、共同でものづくりのプロジェクトを展開されている企業様より、取り組み内容についてご発表いただきました。

後半には、今回のホストであるKISA2隊熊本の活動報告と、隊員による寸劇が行われ、大いに盛り上がりしました。最後は「ワールドカフェ」を開催。「繋がり」というテーマで、グループ毎にディスカッションを実施し、その内容を全体に共有しました。普段は対面で会う機会が少ない全国のKISA2隊メンバーとの交流が行われ、終始活発で賑やかな時間となりました。

#### ■ 隊員の声

たくさんの繋がり、学びを得て、人生が変わりました。  
コロナは大変でしたが、KISA2隊に入れた事は  
コロナがもたらした最高のイレギュラーと言えます。  
(理学/作業療法士)

KISA2隊が自分の人生を大きく変えるきっかけになりました。関わる前より断然地域との関わりが深まりましたし、多職種連携を意識するようになりました。何より良かったのは同じ志を持つたくさんの仲間と出会えたことです。  
(医師)



いつも活動を感じて、僕も頑張らねばとやる気になります。ありがとうございます！  
(医師)

KISA2隊に集う方々の活動に日々、感銘を受けています。私自身が目標とする「人」としての在り方がKISA2隊にあると感じており、少しでも近づく人になれるよう、精進してまいりたいと思わせてくださる素敵な隊です。  
(看護師)



# 財務報告

## 2024年度 収支報告 2024年4月1日～2025年3月31日

科 目				当年度	前年度
一般正味財産増減の部	経常増減の部	経常収益	受取助成金	67,333,217	68,619,642
			受託収益	85,021,545	87,036,049
			受取寄附金	31,354,569	2,713,798
			雑収益	124,445	613,528
			経常収益計	183,833,776	158,983,017
		経常費用	事業費	184,711,873	150,300,856
			経常費用計	184,711,873	150,300,856
			評価損益等調整前当期経常増減額	△ 878,097	8,682,161
			基本財産評価損益等	0	0
			特定資産評価損益等	0	0
			投資有価証券評価損益等	0	0
			評価損益等計	0	0
			当期経常増減額	△ 878,097	8,682,161
		経常外増減の部	経常外収益計	0	0
			経常外費用計	1,260,963	0
	他会計振替額		0		
	税引前当期一般正味財産増減額		△ 2,139,060	8,682,161	
	法人税、住民税及び事業税		669,800	569,000	
	当期一般正味財産増減額		△ 2,808,860	8,113,161	
	一般正味財産期首残高		67,846,957	59,733,796	
	一般正味財産期末残高		65,038,097	67,846,957	
	当期指定正味財産増減額	0	0		
	指定正味財産期首残高	0	0		
指定正味財産期末残高	0	0			
正味財産期末残高				65,038,097	67,846,957

(単位:円)

## 貸借対照表 2025年3月31日現在

資産の部				当年度	前年度
流動資産	現金預金	161,028,287	122,272,259		
	未収金	4,688,200	3,487,514		
	仮払金		—		
	流動資産合計	165,716,487	125,759,773		
固定資産	基本財産	—	—		
	特定資産	—	—		
	その他固定資産	27,210,112	32,319,954		
	固定資産合計	27,210,112	32,319,954		
資産合計		192,926,599	158,079,727		

負債の部			当年度	前年度
流動負債			127,888,502	90,232,770
	固定負債		—	—
負債合計			127,888,502	90,232,770

正味財産の部			当年度	前年度
指定正味財産			—	—
一般正味財産			65,038,097	67,846,957
正味財産合計			65,038,097	67,846,957
負債及び正味財産合計			192,926,599	158,079,727

(単位:円)

名 称 一般社団法人KISA2隊  
法人設立日 2022年3月1日  
所在地 〒615-8074  
京都市西京区桂南巽町154-3 ホッホラントビル



一般社団法人KISA2隊

[www.kisa2tai.or.jp](http://www.kisa2tai.or.jp)



Web

